

胃カメラ

(メディカル AI 技術採用装置)

このような方は胃カメラ検査を受けましょう

- 胃痛、みぞおちの痛み
- 吐き気
- 胸焼け
- げっぷが出る
- のどのつかえ感
- 胃もたれ
- 胸のつかえ感がある
- 貧血を指摘された
- 胃透視検査で異常を指摘された
- 血縁者に胃がんのいる方 など

重篤な疾患にかかっている可能性も考えられます。放置せず、まずは医療機関を受診し適切な処置を受けることをおすすめいたします。

胃カメラ検査とは

先端に高性能のカメラがついた内視鏡を鼻または口から挿入し、食道・胃・十二指腸を観察する検査です。

胃カメラのメリットは、胃透視検査よりも胃がんを早期発見しやすいことです。年 1 回の検査を受けていれば、がんを早期に見つけて内視鏡で切除できます。

当院の胃カメラ検査の特徴

当院の胃カメラ検査についてご紹介いたします。

内視鏡画像診断支援システム
CADEYE CADEYEとは

「ヒトが AI 技術と共創する」
富士フイルムはその先を見据える

体外診断
クラウドサービス
医療 IT
放射線
超音波
検出・鑑別支援

富士フイルムの医療 AI 技術
長年培ってきた画像処理技術で、医療に貢献してきた富士フイルム。洗練された自社技術と膨大な画像データをもとに開発したメディカル AI 技術は、今も、そしてこれからも、さまざまな医療シーンに護りました。

SYNAPSE
RIS/ECAD
RIS/ECAD
IVIZ air
to Future

内視鏡専門医による検査

当院では豊富な検査経験がある、日本消化器内視鏡学会の専門医による安心・安全な検査を受ける事ができます。

初めての方も、検査に嫌な思い出がある方も安心してお受けください。

鎮静剤を使用することで痛みやつらさを軽減

ご希望の方には、検査で鎮静剤を使用しております。

鎮静剤を使用することでほとんど眠った状態で受ける事ができます。鎮静剤の量は、患者様 1 人に合わせて調整する事ができます。

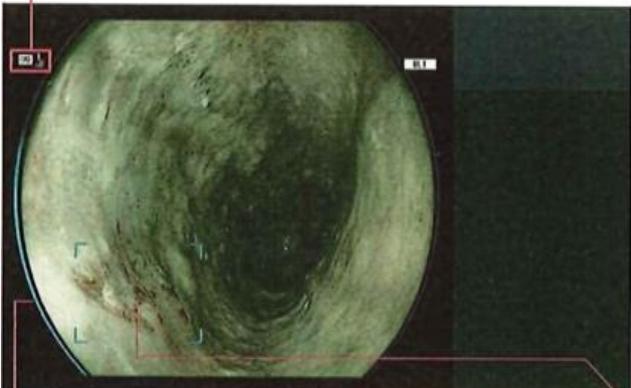
ご希望の方は、医師にお伝えください。

検出用上部内視鏡画像診断支援プログラムを使用しております

当院では富士フィルム社の CADEYE 内視鏡システムを導入しております。

今までのものよりパワーアップし、小さな病変も見落とさず早期発見・早期治療に繋がります。

CAD状態表示



アイコン	対象部位		観察モード	支援モード
	食道	胃		
	○	×		食道扁平上皮癌疑い領域検出支援モード
	×	○		胃腫瘍性病変疑い領域検出支援モード
	○	○		食道扁平上皮癌疑い領域検出支援モード 胃腫瘍性病変疑い領域検出支援モード

ビジュアルアシストサークル

検出ボックス

異常があれば病理検査対応

胃内視鏡検査をしている時に、異常が見つかりましたら病理検査を行います。

病理検査の結果は後日、再来院していただきお伝えします。

鎮静剤を使用した胃カメラ検査

鎮静剤活用により「苦痛のない内視鏡検査」が可能！

当院では鎮静剤の使用を積極的に実施しており、検査時に痛みを伴うことなく検査を実施することが可能です。

実際に鎮静剤を使用して検査を実施された患者様からは、次のようなお声をいただいています。

「眠っているうちに検査が終了していた」

「痛みを感じることなく検査が終わった」

鎮静剤を使用することで、ほとんど眠った状態で検査を実施することができます。そのため内視鏡検査に対する「痛そう…」や「何だか怖い…」といった不安をなくすことが可能です。初めて内視鏡検査を受けられる方はもちろん、過去に内視鏡検査で苦しい思いをされた方も安心して受けていただけます。

鎮静剤を使用した検査の流れ

検査を開始する際に注射器で鎮静剤を投与いたします。投与するとすぐにウトウトと眠くなってきて麻酔が効いてきます。鎮静剤の量は、年齢や体格、既往症、服用している薬などに合わせて調整をしていきます。

検査中は痛みや苦痛を伴うことなく検査を実施できます。検査が終了したら、ゆっくりお休みいただけます。

注意点

鎮静剤を活用する際には、下記の注意点がございますので予めご了承ください。

- 鎮静剤が覚めるまで院内でお休みいただけます。院内での検査時間が長くなる点ご了承ください。
- 鎮静剤を使用された方のお車・自転車の運転はお控えいただいております。公共交通機関をご利用いただくか、付き添いの方に運転してもらうようにしてください。

胃カメラ検査でわかる疾患

- 慢性胃炎
- 逆流性食道炎
- 胃がん
- 食道がん
- 胃ポリープ
- 胃アニサキス症
- 胃潰瘍
- 十二指腸潰瘍
- ピロリ菌感染

胃がんや食道がんなどの疾患に罹患している可能性もございますので、お身体の不調を感じた際には、胃カメラ検査を受けましょう。



胃カメラ検査の流れ

1. 診察

検査前に医師が診察を行います。当日の体調などによっては、胃カメラ検査ではなく別のご提案をさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

2. 検査

事前診察が終わりましたら検査に移ります。

7. 結果説明

検査が終了したらゆっくりお休みいただきます。

その後、医師が検査結果の説明を行います。

検査時に生検を行った場合は、後日病理結果の説明をさせていただきますので、再度当院へお越しいただきます。

結果説明の際のご不明点については、医師やスタッフにお気軽にお尋ねください。

8. 会計

結果説明まで済みましたら、本日の検査は全て終了です。

お会計を済ませてご帰宅いただけます。鎮静剤を活用された方は、お車・自転車でのご帰宅をご遠慮いただいております。

検査 1 時間後から飲食が可能です。（組織検査を行った場合は 2 時間後から可能です）

検査 2～3 日は刺激物を控えるようにしてください。

胃カメラ検査の費用

胃カメラ検査の費用は下記の通りです。

下記の費用は参考金額です。診療内容に応じて費用の変動がございますので、ご了承ください

検査	1割負担	2割負担	3割負担
胃カメラ検査のみ	約 1,500 円	約 3,000 円	約 4,500 円
胃カメラ検査＋ 病理組織検査	約 3,000 円	約 6,000 円	約 9,000 円